



学校だより

伸びゆく子

令和5年2月28日
横浜市立中沢小学校
3月 号

卒業・進級に向けて ～翔(かける)～

学校長 川又 美貴子

昔から「2月は逃げる」とはよく言ったもので、暖かい日差しに春を感じるようになった途端、あっという間に3月を迎えようとしています。地域・保護者の皆様のご理解・ご協力の下、この一年の充実した教育活動を進めてくることができました。本当にありがとうございました。



さて先日、久しぶりに5時間目の授業参観の後、続けて懇談会を行い、多くの皆様に参加していただくことができました。それぞれの学年・学級が工夫を凝らした内容で授業を行い、子どもたちも、大勢の保護者の方々に成長した姿やがんばっているところを見ていただき、とても嬉しそうにしていました。中でも、6年生は24日(金)に、「6年間の成長を支えてくれた人たちへの感謝の気持ちをもって、中学生へ向かっていく姿を見せよう」と、学年で「卒業を喜ぶ会」を行いました。学級ごとの合奏発表と共に、一人ひとりが感謝や将来の夢などについて語り、その思いを書き込んだ一枚ずつの紙を貼り合わせるモザイクアートに取り組みました。最後にはこの会のテーマである「翔」の文字が完成し、字のごとく、今まさに、空高く羽ばたこうとする頼もしい姿を見せてくれました。

いよいよあと三週間ほどで卒業、進級です。一人ひとりが自分らしさと、今いる仲間とのひびきあいのよさを感じながら、それぞれの思いを胸に、空高く羽ばたいてほしいと願っています。

《旭中・中沢小学校運営協議会／旭中学校区学校・家庭・地域連携事業実行委員会》

2月17日(金)、今年度最後の学校運営協議会が行われました。学校からの報告をもとに、「6年生が総合的な学習の時間で取り組んだ『中沢フェスティバル』を始め、地域と関わり、地域に目を向けた活動はとても良かったので、今後も継続してほしい。」「ICTの整備が進んではいるが、それを扱う情報モラルについては年齢を問わず教えていく必要がある。子どもだけでなく、保護者にも理解と協力をしてもらうため、学校から発信していくことが大切だ。」などのご意見をいただきました。いただいたご意見は今後の学校運営に生かしていきます。なお学校評価報告書はこの後、学校ホームページに掲載します。

学校運営協議会に続き「学校・家庭・地域連携事業実行委員会 総会」が行われ、「地域の方々から見える子どもたちの姿」をテーマに情報交換をしました。公園のルールやマナーを守って子どもたちが遊べるように地域が見守っていくことの大切さや、子どもの頃にたくさん褒めて育てることの大切さなどについて、家庭・地域・学校が共に考えるよい機会となりました。